

第3回 さかい与謝野晶子 青春の短歌大会 入選作品 (1~15)

	学校名	氏名(ふりがな)	作品
1	関西大学第一高等学校	たにくち る な 谷口 月渚	追いかけて追いつけなくて嫉妬して信頼できる僕のライバル
2	関西大学第一高等学校	のがわ りお 野川 莉緒	友人とたどった道は砂時計いつかは終わりが来るのだろうか
3	関西大学第一高等学校	まち かみ おう た 町上 桜太	グラウンドポツンと転がるサッカーボール蹴り飛ばしたい自分と一緒に
4	関西大学第一高等学校	だん きょうご 旦 馨吾	今日もまたなかなか逢えずすれ違い歪 <small>いびつ</small> に割れた割り箸のよう
5	箕面学園高等学校	ながい あつや 永井 敦也	昼休み緊急会議開かれてかすかな期待帰れるのかな
6	静岡県立浜松湖南高等学校	おだ れいり 小田 怜莉	ひまわりの横で伸びする女の子この子はきっと素敵な子になる
7	静岡県立浜松湖南高等学校	うき がい み のり 浮海 美乃里	赤本とノートを広げ席につくあとは押すだけやる気スイッチ
8	早稲田大学本庄高等学院	にしかわ こう き 西川 昂輝	人生は化学変化の積み重ね思わぬ反応時に刺激臭
9	早稲田大学本庄高等学院	みうら はると 三浦 陽人	これがしたい二十歳 <small>はたち</small> からですお帰りを称号だけの半分成人
10	早稲田大学本庄高等学院	なかむら る か 中村 琉果	入学式全校集会歌省略校歌も知らない最高学年
11	愛媛県立松山南高等学校	ひがし たけふみ 東 武文	化学室どこか感じるなつかしさ何のにおいだ？ああ病院か
12	埼玉県立特別支援学校 坂戸ろう学園	まつだ きらら 松田 星音	先生の手話を眺めている今朝のはっきり青に染まる春の空
13	神戸市立神港橋高等学校	みやざき きょうた 宮崎 響大	君からの電話しよの一言で空っぽの僕のコップはすぐ溢れ出す
14	京都府立南丹高等学校	あだち ちさと 足立 千里	すだれある窓からみえる青い空遠くなるほど青が濃くなる
15	北九州工業高等専門学校	いしだ ゆうま 石田 祐真	寂しそうな虚空を見つめる君の顔いつもの笑顔にそっと紛れて

第3回 さかい与謝野晶子 青春の短歌大会 入選作品 (16～30)

	学校名	氏名(ふりがな) <small>しめい</small>	作品
16	北九州工業高等専門学校	わたなべ れい 渡邊 嶺	実験と牧野先生好きだけど異常に眠い化学の授業
17	山口県立防府高等学校	みと ゆき 見戸 幸姫	嘘つきめ「行けたら行く」は拒絶の意君も私も日本人
18	関西学院千里国際高等部	たけい かなと 武井 奏人	夕焼けに山の頂上空を見たお前が居るなら負ける気しない
19	愛媛大学附属高等学校	てらおか ゆきと 寺岡 礼登	目が合った素早く下向きまた戻すそれでも当てるか中村先生
20	愛媛大学附属高等学校	あらかわ ななみ 荒川 七海	君は私を先輩と呼ぶけれど、私は君を後輩とは呼ばない
21	愛媛大学附属高等学校	ながたに たけし 長谷 武志	山越えて新生活の街並みは四分の不安と六分の好奇心
22	ノートルダム清心学園 清心女子高等学校	ひらい みさ 平井 美紗	おどる心乗り換えの不安抱きしめてワンマン電車青田を進む
23	大分県立別府鶴見丘高等学校	しんぼり りな 新堀 莉菜	照らされる彼の笑顔がよく映えた今日は一段と太陽が眩しい
24	大阪府立布施高等学校	たか おか みつき 高岡 美月	テスト期間全然勉強してないが急に出始める謎の余裕
25	秋田県立秋田高等学校	いしい たまき 石井 環妃	「おやすみ」と君打つ文字のここちよさ見えぬ気持ちは同じだろうか
26	初芝富田林高等学校	くしま まや 櫛間 まや	暑いねと温度を下げるリモコンでそして世界の温度は上がる
27	大阪府立信太高等学校	たていし いろは 立石 いろは	ユニホームあなたの姿誰よりも輝いてるよ打てホームラン
28	香里ヌヴェール学院高等学校	あかそ みお 赤楚 未桜	上を向くきっかけをくれる雲が好き一瞬で変わる自然のアート
29	山口県立柳井商工高等学校	にしもと なぎさ 西本 凧沙	夏祭りのまれる人ごみ抜け出して私の気持ち花火にたくす
30	大阪府立金岡高等学校	はやし おうすけ 林 央輔	意中への距離はおよそ1メートルいちばん近くていちばん遠い

第3回 さかい与謝野晶子 青春の短歌大会 入選作品 (31~45)

	学校名	シメイ 氏名(ふりがな)	作品
31	大阪府立金岡高等学校	わたなべ たつや 渡辺 達也	あの世とは居心地の良い場所らしい誰もこの世には帰らないから
32	大阪府立大塚高等学校	たなか めい 田中 芽依	友達の自転車壊れ帰り道持ち上げ歩くそんな思い出
33	大阪府立大塚高等学校	かぜもと ゆう せい 風本 侑星	グランドの真上の空の太陽が心も体も熱くしている
34	関西大倉高等学校	よしむら けんた 吉村 健太	声だして叫んでみなよその気持ち君の思いは絶対届く
35	関西大倉高等学校	さわだ りさこ 澤田 理紗子	友チョコと嘘つき渡す本命に物足りない顔してくれないかな
36	関西大倉高等学校	はやし ゆいこ 林 結子	「有意義な夏休みにしましょう。」無意味なものこそ学生の特権
37	関西大倉高等学校	やまき おう せい 山崎 央誠	嫌われろ心のどこかでそう願う君の味方は僕一人でいい
38	関西大倉高等学校	つだ けいこ 津田 慶子	太陽と重ねるように投げ上げる振り切るラケット眩しさを打つ
39	関西大倉高等学校	すぎうら みれい 杉浦 美玲	あと一分どうしてここで気付くのか間違えている答案用紙
40	関西大倉高等学校	はた みさき 畑 美咲	連日の最高気温更新に暑いと言ったら負けた気がする
41	関西大倉高等学校	くらた ゆうき 鞍田 勇樹	分からない遠い未来の出来事も身近な今の悲劇さえも
42	関西大倉高等学校	やまざき まき の 山崎 真妃乃	青春はいつでもずっと早送り長かったと感じた日さえ
43	関西大倉高等学校	たい みり あ 田井 美利亜	ピーナッツ喉に残ったイガイガがあの日そびれた言葉に似てる
44	関西大倉高等学校	まるおか しょうこ 丸岡 祥子	なぜだろう何がそんなにいいのだろうなぜ君じゃなきゃいけないのだろう
45	関西大倉高等学校	り ちゆりよん 李 珠鈴	比例する期待と恐怖最後だからバットで描け放物線を

第3回 さかい与謝野晶子 青春の短歌大会 入選作品 (46～60)

	学校名	氏名(ふりがな) <small>しめい</small>	作品
46	福岡県立明善高等学校	<small>まつだ とうこ</small> 松田 沓子	黄昏に染まる夕顔君の顔伸びた影だけ僕に重なる
47	大阪府立いちりつ高等学校	<small>ふなね ゆうま</small> 舟根 悠真	笛が鳴るその瞬間に顔を上げ空を見上げた雨降る心
48	大阪府立いちりつ高等学校	<small>さわべ ちかき</small> 澤邊 愛咲	どうしてだ好意を寄せている人の嫌いは信じ好きを疑う
49	大阪府立いちりつ高等学校	<small>みにに ふうか</small> 三谷 楓果	大嫌いみんなに優しい君をみて嫉妬しているわたしが嫌い
50	大阪府立いちりつ高等学校	<small>もり けんすけ</small> 森 健介	部活後にかぎを返しに行く人を決めるじゃんけん一番楽しい
51	大阪府立狭山高等学校	<small>いちかわ きなり</small> 市川 稀夏莉	<small>せきぞう</small> 石像とにらめっこした <small>なつやす えんぴつ</small> 夏休み鉛筆の音と <small>おと なまりいろ て</small> 鉛色の手
52	大阪府立狭山高等学校	<small>あかいわ ゆう</small> 赤岩 優	この夏は勝利を目ざし追いかけたひとつの気持ちを横一列で
53	大阪府立狭山高等学校	<small>おおうえ かれん</small> 大上 華蓮	あの曲を聞けばあの頃思い出す今の私はどの曲だろう
54	大阪府立狭山高等学校	<small>ひろたき</small> 廣滝 さくら	さらさらとものを書く手が止まらない夏の日差しと窓辺と私と
55	京都府立嵯峨野高等学校	<small>ねもと ゆきた</small> 根本 幸拓	せみのように殻を破ると誓ったが今の私はうつせみのよう
56	京都府立嵯峨野高等学校	<small>さきはら</small> 笹原 すみれ	満員の観客席にフルートの音が吸い込まれてゆく怖さ
57	明浄学院高等学校	<small>さかい</small> 坂井 にこり	衣がえセーラーの衿風にゆれ夏のおいがすぐそこにある
58	堺市立堺高等学校	<small>やました ひろと</small> 山下 大翔	新しい季節とともに時がすぎぼくらはすこし変わるのだろう
59	大阪府立三国丘高等学校	<small>り しょうけん</small> 李 承軒	山と海どっちが好きか問いかければ家が好きだと言う君が好き
60	大阪府立三国丘高等学校	<small>あかいし れんと</small> 赤石 蓮人	ディスタンス体と体は離れても心と心はいつだって <small>みつ</small> 密

第3回 さかい与謝野晶子 青春の短歌大会 入選作品 (61~75)

	学校名	氏名(ふりがな) <small>しめい</small>	作品
61	大阪府立三国丘高等学校	<small>ながお かずき</small> 長尾 一輝	言わないで聞いてしまうともう元に戻れない気がしてしまうんだ
62	大阪府立三国丘高等学校	中辻 優里菜	ひまわりがお日さまずっと見つめてる私の視線に気づくことなく
63	大阪府立三国丘高等学校	<small>くろかわ こうせい</small> 黒川 航世	自由律短歌詠むほど腕がない自由はときに重き鎖よ
64	大阪府立鳳高等学校	<small>にしもと みか</small> 西本 美香	喧嘩した次の日の朝のおはようはいつもより少し優しくて好き
65	大阪府立鳳高等学校	<small>おくの さな</small> 奥野 咲夏	カレンダー真っ白なのは「ごめんね」とたったひとこと言いそびれたから
66	大阪府立鳳高等学校	<small>きたむら あや</small> 喜多村 彩	友達と呼べる基準って何だろう話してるのは初対面の人
67	大阪府立千里高等学校	<small>くぜ ひびき</small> 久世 響己	しゃりしゃりと皆で食べるかき氷キーンとしながらジーンとするね
68	大阪府立千里高等学校	<small>しろぐち りく</small> 城口 凜久	皆寝てる黒板の音が心地良くプールの後の五限目国語
69	大阪府立富田林高校	<small>たまがわ たいち</small> 玉川 太一	帰り道偶然出会った君の眼に映る僕から視線を逸らす
70	柳井学園高等学校	松下 優河	仕送りはわくわくと希望のダンボールただの箱でも寮では違う
71	明星高等学校	<small>もり みなぎ</small> 森 水玖	消しゴムを落として始まる恋の予感男子校にそんなものない
72	明星高等学校	<small>すが ひびき</small> 菅 響紀	3年ぶりの水泳授業水着よりマスクを外す方が恥ずかしい
73	阪南大学高等学校	<small>かわはた あやの</small> 川端 綾乃	アザはないお腹すかない怒鳴られないやっぱり僕は幸せなんだ
74	松商学園高等学校	<small>むたい すず</small> 務台 紗	バス降りて急に降り出す大雨が試合に負けた心を濡らす
75	松商学園高等学校	<small>ふじおか ゆめ</small> 藤岡 弓姫	人は誰も二人の自分をかかえてる社会の自分とネットの自分

